



即日発表用

## SWIFT gpi ブロックチェーンの機能検証(PoC)に 22 のグローバル銀行が新たに参加

*世界的ネットワークを誇る SWIFT gpi はクロスボーダー送金に関わるコラボレーションとイノベーションが自然に生まれる場所と各行が評価*

**ブリュッセル、2017年7月6日** - SWIFTは、22のグローバル銀行がブロックチェーンの機能検証(PoC)に新たに参加したことをご報告します。PoCの目的は、銀行がブロックチェーンを利用して、各国に所有するノストロ勘定をリアルタイムで照査できるかを検証することです。なおこのPoCは、クロスボーダー送金の新スタンダードである[SWIFT gpi\(グローバルペイメントイニシアティブ\)サービス](#)の一部を構成するものです。

PoCに新たに参加した銀行は以下のとおりです。

ABN AMRO Bank、ABSA Bank、Banco Bilbao Vizcaya Argentaria、China Construction Bank、China Minsheng Banking、Commerzbank、Deutsche Bank、Erste Group Bank、FirstRand Bank、Intesa Sanpaolo、JPMorgan Chase Bank、Lloyds Bank、Mashreq bank、Nedbank、RaboBank、Santander、Société Générale、Standard Bank of South Africa、Standard Chartered Bank、株式会社三井住友銀行、UniCredit、Westpac Banking Corporation

上記の22銀行は、SWIFTおよび[年初にPoCの立ち上げに携わった6行](#)が現在開発しているPoCのブロックチェーン・アプリケーションのテストと検証を行います。そして、立ち上げに携わった6行とは独立した検証機関としてアプリケーションの詳細なテストを行い、その技術の拡張性と性能を評価します。

SWIFTでBanking Market and SWIFT gpiの責任者であるWim Raymaekersは次のように述べています。「コラボレーションはイノベーションを支える柱です。新たに参加する銀行のおかげで、ブロックチェーン・アプリケーションの多国間テストの実施範囲が大幅に拡大し、検証結果の信頼性も大きく増すことになります。SWIFTは新メンバーを歓迎し、彼らが提供する見識に期待します」

2017年1月に開始したPoCの目的は、円滑なクロスボーダー送金に不可欠となるノストロ勘定の監視・管理に関連して、各行が直面する深刻な課題の解決を図ることです。現在、日中のデータが把握しづらいため、銀行は各勘定の資金ポジションをリアルタイムに監視できません。PoCでは、銀行が日中の資金管理を実現するためにリアルタイムの流動性データを必要していることを認識しています。最近公表された「日中流動性標準」の一部として、SWIFTは「業務ルール集」を定義していますが、PoCは基本的にこの「業務ルール集」に則って展開されます。

SWIFTでR&D、SWIFTLab、UXの責任者であるDamien Vandervekenは次のように述べています。「PoCが提供するビジネス上の潜在的メリットは明確です。銀行がノストロ勘定をリアルタイムで管理できれば、各勘定に必要な資金を常に把握でき、最終的には多額の余剰資金を確保して投資にまわすことが可能となります」

PoCの開発にあたり、SWIFTは最近リリースされたHyperledger<sup>1</sup> Fabric v1.0の技術を活用し、主要なSWIFT製品との統合を進めています。これにより、ノストロ勘定／ポストロ勘定に関連するすべての情報が保護され、口座所有者とコルレス銀行取引相手のみがこれを参照できるようになります。PoCアプリケーションでは、権限が与えられた特定のプロフィールを持つユーザーグループのみがアクセスでき、強力なデー

タ管理が施された非公開のブロックチェーンを利用します。ユーザー権限とデータへのアクセス権は厳密に管理されます。

今夏にかけてPoCブロックチェーン・アプリケーションのテストを実施し、その結果は9月に公表し、10月にトロントで開催されるSibosでも発表する予定です。

PoCは、SWIFT gpiの取り組みの一部です。SWIFT gpiとは、クロスボーダー送金のリアルタイムでの追跡機能を、迅速で確実な同日決済機能と組み合わせることで、グローバルな資金決済業界に革命を起こしている新サービスです。2017年1月の提供開始以来、20のグローバル大手銀行がgpiを導入し、積極的に活用しています。また、現時点でさらに50行がgpiを導入予定です。詳細については、[swift.com/gpi](http://swift.com/gpi)をご参照ください。

-####

## SWIFT について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFT は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また SWIFT は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは [www.swift.com](http://www.swift.com) をご覧いただくか [@swiftcommunit](https://twitter.com/swiftcommunit) および [LinkedIn:SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

お問い合わせ:  
Xavier Duval  
[Xavier.Duval@swift.com](mailto:Xavier.Duval@swift.com)

---

<sup>i</sup> SWIFT は Hyperledger プロジェクトの創立メンバーであり、理事も務めています。